

令和4年度事業報告について

(公社)雲南市シルバー人材センター

1 事業活動の概要

2022年度 我が国の経済については、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いています。

世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引き締め等による世界的な景気後退懸念など、日本経済を取り巻く環境には厳しさが増えています。

国は、こうした景気の下振れリスク(金融引き締め・景気悪化・業績悪化等)に先手を打ち、国の経済を民需主導の持続的な成長路線に乗せてゆくため、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を策定し、第2次補正予算を計上して、万全の経済財政運営を行うとしています。

2022年度の国の経済については、実質国内総生産は、成長率1.7%程度、消費者物価については、エネルギーや食料価格の上昇に伴い、3.0%程度の上昇率になると見込まれるとしています。

シルバーの派遣事業もアフターコロナ(コロナ禍の後)時代において、短期と長期に視点を置き現在足元では、求人が減っておりコロナによる影響をどう乗り越えるか。

中長期的な視野では、日本の出生率から、労働人口の減少は確実です。『働く人の5人に1人が60歳以上』という時代ですが、今後の経済は大企業非製造業の景況感は改善傾向がみられます。

求人倍率は再び上がっていくことが予想されています。

新型コロナウイルスの影響はまだまだ幅広い業界で大きな打撃を被っていますが、人手不足は深刻化しています、企業としてもシニア人材を新たな労働力として期待する一方で、生産性向上にいかに関与させるべきかと悩んでいます。

日本には、豊かな経験と知恵を持っている(アクティブシニア)が多く、高齢者の7割近くが65歳を超えても働きたいと願っているのに、実際に働いて

いる方は2割にとどまっています。このため、65歳以降の継続雇用延長や定年延長等を利用されない方の企業への派遣等、受け入れ支援や、高齢者の就労マッチング支援の強化などに努めてきています。

当センターの事業実績は、下記に記述しますとおり一時的に会員数及び契約金額とも平成27年度には下げ止まりとなり、令和元年～3年度は会員及び役職員の努力はもとより、地域の皆様、行政をはじめとする関係機関のご支援により計画目標の伸び率に乗りましたが、本年度はコロナの影響から大きな伸びはありませんでした。

また、安全就業については、安全第一の就業を目指していましたが、残念ながら7件の事故が発生しました。

地区担当者と無事故就業対策について協議し、再発防止の徹底を図りました。特に令和2年度から始めた伐採・剪定作業の講習会も随時開催し、該当する会員全員の皆さんの『ライセンスの取得』による安全就業の徹底を図っています。

通常は除草・草刈り・剪定作業において、会員自ら『就業前の安全点検表による点検・点呼・確認、』の安全自主点検を行い安全意識をもって就業し、傷害事故を無くすことを主眼に取り組んでいます。

インボイス制度の導入に伴う検討を元年から行ってきた全シ協の「会計・経理検討委員会の報告（R5.2.1）」を受け、当センターの対応は

① 『料金（請負等代金）の値上げ』発注者に負担いただく方法を選択しました。

令和5年4月1日から事務費率10%から12%に改定します。

令和5年10月1日からインボイス制度(適格請求書保存方式)導入により新たな経費負担が生じ、①の方法で対応すると、発注者の理解を得るためこれを契機に当センターとしても、的確な就業会員配置による仕事完成度の向上、依頼から契約・着工までの期日短縮、アフターサービスの充実など発注者に満足いただけるような付加価値を付けたシルバー事業を推進します。

今後は、先述したように国内外の社会経済情勢は全く予断を許しませんが、高齢化社会の受け皿となるシルバー事業を今後ますます発展させていくためには、公益社団法人として市民の目線に立ち、多様化する社会的要請や企業要請などの社会経済環境の変化に的確に対応していくことが重要となります。

今後とも、安全就業を第一とし、派遣事業の積極的な取り組みなど国の施策の動向を注視し、県連合会及び近隣のシルバー人材センターとの情報を密にしながら就業機会の拡大を目指し、お客様に「安心と信頼」される魅力あふれるシルバー人材センターを構築していく必要があります。

以下、令和4年度において実施した事業の概要を報告します。

2 事業実績（10年の軌跡）

（数値は、請負・委任と一般労働者派遣事業を合計した数値）

年度	会員数 (人)	粗入 会率 (%)	就業延 人員 (人)	就業率 (%)	受託 件数 (件)	契 約 金 額 (千円)			
						計	公共 関係	企業 関係	一般 家庭
25	351	2.0	23,160	89.4	4,517	120,944	23,749	43,271	53,924
26	344	1.9	24,057	92.4	4,193	127,571	26,242	50,540	50,789
27	370	2.1	23,561	90.5	4,231	130,541	26,889	53,354	50,298
28	373	2.1	24,913	89.2	4,259	139,737	30,476	57,273	51,988
29	391	2.2	26,656	91.6	4,420	147,194	29,412	66,243	51,538
30	414	2.4	29,580	90.6	4,627	170,190	42,677	76,940	50,573
元	428	2.5	33,458	87.1	4,620	198,225	47,240	98,806	52,209
2	436	2.5	32,523	83.7	4,544	194,807	58,694	85,910	50,203
3	454	2.6	35,805	88.1	4,601	205,085	60,635	95,042	50,616
4	466	2.7	37,638	89.4	4,759	226,758	64,083	107,067	55,608
前年度比較	102.6%	+0.1	105.1%	+1.3	103.4%	110.6%	105.7%	112.6%	109.9%

3 実施報告

（1）安全・適正就業について

1) 事故発生状況

・安全就業推進実施計画に基づき、安全な就業は全てに優先し、労働関係諸法規の法令を遵守し、安全・適正な就業に努めましたが、傷害事故が4件、物損事故が3件発生しました。1件は清掃中に脚立から降りるとき足を滑らし転倒し頭を強打、2件目は部屋から畳を運び出すとき足場になっていた台がずれ転倒、また3件目は、重い荷物を持ち段差に躓き転倒する事故、4件目は、剪定

作業中に脚立がぐらつき、落下転倒し胸と背中を痛める事故が発生しました。

物損事故の1件は、駐車中の車への小石の飛散事故、2件目は、狭い場所での作業中に、枝の剪定作業中に切り枝が木にバウンドして窓ガラスを破損する事故、また、3件目は、重機による作業中重機のアームが電話線に接触して線たわみと、部分的に被覆剥離が起きた事故が発生した。

2) 安全衛生管理委員会

・元年度からシルバー派遣事業における安全衛生管理について基本的な事項を定め、シルバー派遣会員の安全と健康を保持するとともに、災害及び事故を未然に防止することを目的とする衛生委員会を設置して、1回/月の衛生委員会の開催し協議を行っています。

また、現在コロナ禍にあるため産業医の先生のご指導の下コロナウイルス感染症の情報を、会員の皆さんに引き続き情報提供を行っています。

(取組)

- ① 安全指導推進員による安全パトロールの強化 (32回)
- ② 班会で安全就業講話及び就業に関する危険作業や偽装請負の自主点検について意見交換を実施
- ③ 公平な就業機会の推進 (ローテーションの推進)
- ④ 事務局だより (2回発行) による安全就業の奨励
- ⑤ 安全・業務委員会による現場パトロールの実施 (3回)
- ⑥ 安全衛生委員会の開催、職場の安全衛生巡視、産業医による健康対策

(2) 会員の増強について

会員の拡大は、当センターの最重要施策として取り組み、多様な発注ニーズに対応するため、下記の運動を積極的に取り組み会員の確保に努めています。

新規会員は54名、また病気や家庭事情での退会者が42名あり、今年度末の会員数は前年の454名に対し466名と12名の増となった。

(取組)

- ① 入会説明会を月2回開催 (説明会参加 65名)
- ② 一会員一人勧誘のロコミ運動
- ③ 後期高齢者等及び加入時期に配慮した会費制の導入
- ④ 市内各交流センターへ事務局だよりの配布

(3) 就業機会の拡大について

就業拡大は、会員拡大と併せて当センターの最重要施策として取り組んでいます。

会員及び役職員は「みんなで開拓、みんなで就業」を基本とし、次年度以降もあらゆる機会をとらえて就業開拓に積極的に取り組みます。

(取組)

① 就業開拓推進員（兼務地域連絡員）を6地域に7名配置

② 役職員等による年末年始の企業訪問（約35社）実施

③ 派遣事業への積極的な取り組み（専属職員を配置）

（受注件数 47件 就業延べ人数 8,111人日）

④ シニア就業相談会の開催

（4/4木次、8/18加茂、11/25大東、1/25木次）

⑤ 指定管理者制度（創生館、掛合体育館及び野球場）の継続受託

⑥ 行政機関等に対し令和5年度の予算要望、委託事業の確保の要望活動

（令和5年1月13日には石飛雲南州市市長、狩野健康福祉部長他1名に、また、同日 矢壁・白築正副議会議長への予算要望と意見交換を行った。）

(4) 普及啓発の推進について

広く雲南市民に対し、シルバー事業の理念、意義、事業活動状況を地元テレビや新聞、一般研修、ボランティア活動を通し、会員拡大や就業拡大の普及啓発に努めた。

(取組)

① 市内11か所で190名の会員が参加しボランティア作業を実施

② 毎月ケーブルテレビ等地域の媒体を活用した普及啓発を実施

③ ホームページ及び自治体の広報誌、新聞を活用した普及啓発を実施

④ 会員及び一般市民を対象とした講習会を開催

・剪定講習会（座学のみ）（R4年5月30日 参加者 一般15名 会員16名
於：斐伊交流センター）

・剪定作業就業資格認定講習会（R4年6月14日 参加者 10名
於：シルバー人材センター）

- ・ドライビング高齢者安全運転講習会（R4年10月20日 参加者12名
於：きすきドライビングスクール）
- ・剪定講習会（令和4年11月28日 参加者一般7名 会員16名
於：木次中学校敷地内）
- ・草刈り作業就労資格取得安全講習会（R4年度5回開催）
 - （11/24 参加者31名 於；斐伊交流センター）
 - （12/12 参加者33名 於；斐伊交流センター）
 - （12/19 参加者20名 於；一宮交流センター）
 - （R5.1/16 参加者27名 於；大東交流センター）
 - （R5.3/6 参加者25名 於；斐伊交流センター）
 対象者；草刈作業従事者、新人の方、草の寄せ方のみの方、車両の監視のみの方草の運搬のみの方
- ⑤ 「利用者アンケート」調査を実施(90%以上の方が総合的に満足と回答)

（5）財政運営の健全化について

平成23年度に策定された財政健全化指針に基づき財政基盤の強化を図っています。

令和4年度も引き続き指針を踏まえ、効率的な財政運営に努め、積極的に就業拡大を図る一方、市当局に対し財政支援及び委託事業の拡大を要請するなど財政基盤の安定化に努めました。

（取組）

① 派遣事業（追加3事業所）の積極的な取り組み

（参考：追加事業所）

アミーゴ島根・タンポポ福祉会・社会福祉法人 きすき福祉会

② 雲南市長及び市議会議長へ補助金の確保、及び委託事業の拡大に対する支援の要望と意見交換の実施

③ 効率的な財政運営

（6）組織の充実について

センターは情報発信基地であり、情報の共有化を図るため、各種会議を開催し組織体制の強化・課題解決のために開催を促したが、コロナ禍にあるため思

うように開催できなかった。

(取 組)

- ① 理事会（7回）及び専門委員会（2回）の開催
- ② 安全衛生委員会開催（1回／月，職場の安全巡視）
- ③ 各地区班会（8か所）の開催
- ④ 事務局長会議及び安全就業・会計事務研修会等リモートでの参加